

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物管理でサンプル処理等、適切な処理に取り組んでいます。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		営業で使用する走行距離・時間は運転日誌で記録を行い、ガソリン使用量や電力・ガスの使用量を把握しております。リモート等、効率的な営業活動で走行距離を減らしガソリンの削減に取り組んでいます。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめ固定化効果に着目し、木繊維をすべて国産材とした商品「オフセットサイディング」の認知活動を推進しております。製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅及び公共建築物まで拡大させ、自治体に対して低炭素化への貢献量を認定するという当社の新たな活動環境貢献意識を喚起する取り組みを行っています。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		クリーンウッド法で合法性が確認された木材を使用することで、生物多様性に悪影響を及ぼすことがないよう取り組んでいます。販売するサイディングに使用する木材はすべてクリーンウッド法に基づく合法性の確認された木材を使用しております。事業及び従業員の物販時はマイバック利用を奨励し廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいます。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		建築現場で発生する現場廃材を再度資源として活用する端材回収システムの普及を推進しております。また環境配慮の観点からあらかじめカットして現場お届けする「ラフカット」による端材の大幅低減を行っています。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		所内に「節水シール」を貼り、意識付け・呼びかけを行っています。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		クリーンウッド法で合法性が確認された木材の使用や産業廃棄物の原材料利用など環境に配慮した製品の販売を行っています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	建築業界が抱える大きな環境課題である建築廃材の適正処理のため、「循環型社会を目指して、もう一度資源へ」をスローガンに、広域認定制度を活用した端材回収システムと生産時のエネルギー消費量が少ないリサイクル材の普及を推進しております。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	営業車4台中2台はハイブリット車を採用しております。また通勤時の基本は自転車と公共交通機関の利用としております。										9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

